

## 新小牧市立図書館建設基本計画(案)意見交換会

日時: 平成 21 年 2 月 8 日(日)

14:00~15:20

場所: 小牧市中部公民館 3 階会議室

参加: 一般 25 名

### 次第

- 1.あいさつ
- 2.基本計画(案)説明
- 3.意見交換
- 4.その他

### 【意見】

31 年間図書館を拠点に、読書会など活動をしている。現本館は施設面で使いにくいのは否めないと思う。しかし、31 年間活動を続けられたことは、館長をはじめ、職員の方々の応援無くしてはできなかったと思う。

基本計画(案)を見ると、利用者が利用しやすい図書館が計画されていると感じ、嬉しく思った。周囲の図書館から羨ましがられる図書館ができれば嬉しいと思う。

### 【意見】

駅周辺に建設されるとなっているが、個人的には、東部の里山の静かな環境で読書したりしたい。駅周辺の騒がしいところより、自然に抱かれる静かな環境がよいと思う。自然の中にある図書館の職員の対応は、温かみのある対応をしてくれる。地域に根ざした温かみのある対応を目指して欲しい。

地域の顔が見える付き合いは、公共施設では大切だと思う。そういったことは、子どもの教育にも通じていくと思う。駅周辺という建設予定地について見直していただきたいと思う。

### 【意見】

図書館を建設するというのは集客力が大切だ。駅前に図書館をつくることは、街づくりの核になると思う。市民の活力を生かした図書館づくりがよいと思う。図書館を駅前につくることによって、車が沢山行きかうのは、あまり歓迎できない。図書館へのアクセスも十分検討していただきたい。駐車場が通勤に使われたりしないかも検討するべきだと思う。

### 【意見】

以前 A 街区について市のアンケート調査があった。実は、駅周辺に図書館を建設したらどうかと回答した。自然の中で読書したりするのは素晴らしいと思うが、市民みんなが来やすいというのが大事だと思う。駅周辺に建設するからといって、雑踏の中で本を読むことにはならないと思う。静かに本を読んだり、勉強したりできるよう、照明、空間づくりを十分検討していただきたいと思う。

今回は、図書館単独でよいのではないと思う。特に具体的な案があるわけではないと思う。

現本館の再利用についてだが、小牧市は織田信長にゆかりがあり、豊富な資料がある。しかし、そういったものを展示したり、文化を活用しきれていないと思う。そういったものを展示したり、後世に伝えていけるような施設を、現本館で実現したらどうだろうか。

### 【質問】

何年後にオープンする予定か。

### 【事務局】

計画が順調に行くかはわからないので明言できないが、来年度(平成 21 年度)に基本設計にとりかかる予定だ。計画通り進めば、第 4 年度(平成 24 年度)にオープンする予定である。

### 【質問】

ラピオにある「えほん図書館」はどうするのか。新しい図書館にも児童室がある計画になっているが、近い距離で併用するのか。

**【事務局】**

「えほん図書館」は、主に 0 才から 7 才までを対象にしている。子育て支援を目的とした図書館といった位置づけだ。新しい図書館は、限定せずに、0 才から中学生までを児童対象にしている。

新しい図書館では 0 才から 7 才まではサービスしないといったことではなく、より一層図書館らしいサービスをしていきたいと思う。

**【意見】**

図書館に関するボランティアを 30 年くらいやっている。ボランティアの仲間の 1 人は、駅前に図書館ができる予定と聞いて喜んでいて、ボランティアは募集しても、なかなか人が集まらない。おそらく交通の不便なところでは、余計に人が集まらないと思う。自然環境が子どもに影響を与えるというのはわかるが、本当に大切なのは、人のところだと思う。

**【意見】**

交通の便が悪いところだと人が集まらないというのはわかるが、どうせ建設するなら見直したほうがよいと思う。税金を有効に使っていただきたい。もう少し議論してから、駅前に建設するという結論を出してもよいと思う。

**【意見】**

私は、駅前に図書館を建設することは、税金を有効に活用していると思う。図書館だけでなく、ボランティア活動ができるような施設なども必要だと思う。

**【質問】**

防犯について質問したい。本を無断で持っていってしまう利用者がいて、多くの本が紛失していると聞く。新しい図書館では、どのような対策をする予定か。

**【事務局】**

市内の図書館全体で、IC タグを導入していきたいと思う。手続きが済んでいない本がゲートを通ると知らせてくれるシステムだ。

**【意見】**

設計の段階で、トイレを充実して欲しい。年を重ねていくと、トイレが待てなくなったりする。障がい者にとってもトイレは大切だと思う。

**【質問】**

ギャラリーは、どういったものを想定しているのか。

**【事務局】**

個人とか少人数のグループで展示できるようなギャラリーを考えている。市民が創作したものを気軽に展示できる場所を考えている。

**【質問】**

まなび創造館の展示スペースの半分くらいのものか。

**【事務局】**

それより小さいと思う。図書館へ入った一画を展示スペースにしたいと思っている。

**【質問】**

図書館の年間予算はどれくらいあるか。新刊を購入する際、どのような基準があるのか。一般利用者からの購入依頼は受け付けてもらえるのか。

**【事務局】**

現在の小牧市の図書館全体の予算は、60,000 千円くらいになっている。現在の基準は、大学の入門過程の勉強する人のレベル、仕事などの入門レベルの本を所蔵している。5 年から 10 年仕事をしている人のレベルの専門書は所蔵していない。新しい図書館では、もう一步踏み込んでいきたいと思う。

図書館には選書委員会がある。これから委員と検討して、新しい基準をつくっていききたいと思う。

リクエストについては、現在でも受け付けている。年間 4,000 点ほど購入している。7 冊に 1 冊は、市民からのリクエストがあった本となっている。リクエストいただいたうち、9 割ほどは購入している。

**【質問】**

開館時間について、長時間の開館時間になると思うが、シフト制などにして残業対応などではなく、フレキシブルに対応して欲しい。昨今の経済事情を考慮してワークシェアリングなども検討したらどうだろうか。

**【事務局】**

現在は 9:30 から 20:30 まで開館している。公務員だと 8 時間勤務などがある。窓口業務は、民間業者へ業務委託し、市職員は 3 交代のシフト制にして対応している。民間業者も同様にシフト制で対応している。ワークシェアリングについては、これからの問題なので検討させていただきたい。

**【意見】**

エレベーターかエスカレーターを充実して欲しい。(大きいものを 1 つよりは、小さいものでも良いので多くあると良い。)

**【意見】**

新しい図書館は、1 階部分にして欲しい。本は重いので、上ったり下りたりするのが大変だ。

**【意見】**

ギャラリーについてだが、ラピオの展示コーナーは、利用者から言わせると使いづらいなどの意見がある。1 等地につくるので、十分考慮していただきたい。

**【事務局】**

ギャラリーについては、施錠できる設備ではないため、傷をつけられたらどうするのかということが強く言われ、施錠できる場所がほしいという要望に応えたところであることを理解してほしい。

図書館の場所については、まさに今日の意見のような話があり、議会も含めていろいろ検討してきた結果が基本計画(案)となっている。

図書館の立地については、全国的にみても、環境もよく静かで駐車場も広いが離れた場所(郊外)と、駅前のような場所に二分されている。

離れた場所では、やはり利用者が少ないという結果になっており、一部の人のための限られた大きさのものを造るのではないため、数十億もかかることになる、いかに多くの人に利用してもらえるかを考えなくてはならない。